



一般社団法人

千葉県

作業療法士会

ニュース

特集

臨時総会報告
令和6年度千葉県作業療法士学会報告
学生奨励賞について



令和6年度千葉県作業療法士学会
盛況のうちに終了いたしました。



令和6年度臨時総会を開催いたしました。

発行責任者：松尾 真輔

編集者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 広報部 広報委員会

発行者：一般社団法人 千葉県作業療法士会 事務局

発行：2025年 5月

<http://www.chiba-ot.ne.jp>

〒266-0031

千葉県千葉市緑区おゆみ野 4-21-1 スカイビルおゆみ野 2階

TEL 080-3317-7864

令和 7 年度活動開始のご挨拶

一般社団法人千葉県作業療法士会 会長 松尾真輔

さて、令和 7 年度が始まりました。

会員の皆様も年度が切り替わり、忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

令和 7 年 3 月の臨時総会にて令和 7 年度の活動計画および予算計画が承認されたため、各部局委員会の活動が順次開始しています。会員の皆様におかれましては、是非とも当士会活動へのご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

今年度における当士会の新たな体系として、「倫理委員会の設置」「広報における情報発信ツールの活用」の 2 点があります。

昨今、千葉県を含む全国各地において作業療法士の倫理的問題が取りざたされております。日本作業療法士協会から連携の要請もあり、今後は当士会として、倫理問題における全国的な情報共有や作業療法士の倫理観の向上に努めていく必要があります。これまでは三役（会長・副会長・事務局長）を中心に対応していた倫理案件は、今後「倫理委員会」が対応することになります。

また、会員の皆様に情報をいち早くお届けできるよう、あらゆる広報手段を検討しつつ、ホームページや SNS を通して情報の発信を図るため、広報誌（千葉県作業療法士会ニュース）をホームページへのオンライン掲載へ移行します。広報活動のペーパーレス化に伴い、皆様へ必要な情報を適宜お届けできるよう体制を整備してまいります。

さらに、各部局委員会活動における会議・研修会の開催においては、参加・協力いただける会員の皆様が活動しやすいよう、オンラインや対面等の活動方法をその都度検討し、お互いの顔が見え、熱量が伝わりやすい活動を実践していきたいと考えております。

個人がスキルアップするための研修会の充実はもちろん重要だと考えます。一方で、当士会組織として、または会員個人として、一番の財産になるのは、会員同士が繋がることだと信じています。興味のある研修会、領域外もしくは専門外の様々な当士会活動や研修会等に参加し、是非そこにいる作業療法士や多職種の皆さまとの気軽なコミュニケーションを積極的に図ってみてください。知識と技術を得るだけにとどまらず、ご自身の中で、これまでとは違った作業療法士としての役割（少し抽象的ですが笑）…が見えてくるかもしれません。

千葉県内で作業療法を必要としている方々はまだまだ沢山いらっしゃいます。みんなで作業療法を盛り上げていきましょう！！

令和7年度年第1回定時総会の開催について

令和7年度定時総会が以下の通りに開催されます。議決権を持つのは代議員のみですが、会員ならどなたでも聴講可能です。詳細は、ホームページでお知らせする予定です。

日時 和7年6月22日(日)

9:30 ~

10:00 ~

受付開始

臨時総会

場所

千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス

B棟 B111 教室

千葉市美浜区若葉 2-10-1

財務部より

財務部より大切なお知らせです!!

★★今年度の会費の自動引き落とし時期について★★

2025年度(令和7年度)会費の引き落としは、**2025年6月5日(木)**を予定しております。引き落とし額は**8165円(年会費8000円+引き落とし手数料165円)**です。残高不足に気づかず未納となってしまうことがありますので、口座残高の確認をお願いいたします。会費が1年間未納になりますと会員資格喪失となりますのでご注意ください。

★★自動引き落としを利用していない会員様へ★★

2025年度(令和7年度)会費8000円を2025年6月30日(月)までに以下の口座へお振込みください。また、年会費のお支払いは自動引き落としをお願いしております。口座振替依頼書の用紙をお送り致しますので、自動引き落としを利用していない方はホームページのお問い合わせフォームから会員番号、氏名、送付先郵便番号、住所をお知らせください。

★★新規入会の場合★★

2025年度(令和7年度)より新規入会をご希望の方は、ホームページより入会手続きをしていただき、その後、下記の口座に9000円(入会金1000円、年会費8000円)をお振込みください。9000円のお振込みが確認できましたら会員登録をし、事務局より入会案内を送らせていただきます。



年会費お振込み口座	千葉銀行 蘇我支店 普通預金 3827235
	一般社団法人千葉県作業療法士会
	代表理事 松尾真輔

新人作業療法士にお知らせください！

福利厚生部

みんなおいでよ！

千葉県作業療法士会

県士会って何？

ようこそ

キャリアについて

新人歓迎会

2025. 7.6(日) 午後
in 県立保健医療大学

懇親会もあるよ

時間・内容などの詳細は、
県士会HPにてお知らせします。

福利厚生部では、来る7月6日（日）に新人歓迎会を開催いたします。

詳細は今後県士会ホームページや公式 LINE アカウントなどでお伝えいたします。

ご所属の新人作業療法士の皆様にご周知いただけますと幸いです。

既卒の皆様のご参加もお待ちしております♪

たのしいがいっぱい

福利厚生部

活動希望アンケート



皆さんの
ご希望を
お聞かせください。

第 26 回 千葉県 作業療法士学会 を 終 え て

千葉県作業療法士学会
学会委員会 委員長 須藤崇行

2025 年 3 月 9 日 (日) に千葉県立保健医療大学 幕張キャンパスにて、第 26 回千葉県作業療法士学会が開催されました。参加者は事前登録・当日参加を含め約 300 人となり、各会場で活発な議論が行われました。参加者の皆様に改めて感謝申し上げます。

学会について振り返ってみますと、以前から要望が多かったクレジットカードでの参加費の支払いに、試験的に Peatix を導入いたしました。学会アンケートの結果では、約 6 割の方から今後も Peatix を使ってみたいと意見をいただきましたが、本格的な導入については改めて検討

したいと考えております。

また学会抄録集については、印刷・郵送代で約 70 万円かかっている現状があります。活動費の大半を抄録集の印刷・郵送代に費やしているため、この点についても検討課題にしていきたいと思います。

会場の機材トラブルなどでご迷惑をおかけすることもありましたが、皆様のご協力のおかげで何とか学会を終えることが出来ました。今後も検討しなくてはいい点がありますので、引き続きご指導・鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



会長賞・学会賞・奨励賞の発表

学 会 賞

「左同名半盲と全般性注意障害を呈した症例への自動車運転再開に向けた取り組みの一例」

成田リハビリテーション病院 吉野 一真 様

運転再開に至るまでに、対象者の特性を丁寧に分析し、画面上へのマーキングという身近にあるものを活用した応用性の高い手法で個別的なアプローチを行った創意工夫。

奨 励 賞

「できることが増えた！」～ 自助具を検討したことにより iPad の使用が部分的に可能になった頸髄損傷者の事例 ～

亀田リハビリテーション病院 岩野 宗司 様

マウススティックでのタブレット端末操作や遠隔スイッチ操作の獲得に向けての、繰り返しの吟味や創意工夫、支援者を巻き込み対象者の思いをくみ取っただけでなく、日々の暮らしの豊かさに着目した点。

わ か ば の 力 賞

「心理的側面に配慮し、問題解決技能を高め、端操作を獲得した症例」

令和リハビリテーション病院 大門 知代 様

客観的な評価を用いて多角的に対象者の課題を明確し、対象者の心理的側面に配慮した助言、指導を行い、丁寧な段階付けを行うなどの細やかな配慮は他の症例においても応用できる報告であった点。



2024 年度学生奨励賞の授賞をおこないました

当士会では、表彰規程に則り、令和6年度「一般社団法人千葉県作業療法士会奨励賞」の表彰を行いました。

「奨励賞」は、県内養成校の学生（卒業年次）を対象に、士会への入会と養成への士気を高揚し、県内作業療法の発展に寄与することを目的としています。

推薦要件は、在学中に学業等に優秀な成績を修め、かつ、a. 当士会主催の学会や学生対象イベント等に積極的に参画した者、b. 千葉県内に就職を予定している者（ab どちらか、または両方を満たす者）として、県内養成校8校から各1名を推薦いただきました。

「奨励賞」を受賞された方々をはじめ、新入会頂く皆様には、若い力と発想で当士会に新しい風を吹き込んでいただけるのではないかと思います。

受賞者の皆様のご活躍を期待しています。

氏 名：高知尾 優香 さん
養成校名：千葉県立保健医療大学

4年間を通してご指導くださった大学の先生方、臨床実習における指導者の方々に深く感謝申し上げます。これまでの学びを活かし、将来は患者様に信頼される作業療法士になりたいと考えています。患者様の生活を豊かにできるよう、作業療法士としての技術を磨き、患者様との対話を大切にしながら日々精進して参ります。

氏 名：堀江 優希 さん
養成校名：千葉医療福祉専門学校

この度は、奨励賞をいただき、大変光栄に思います。学校や実習で学んだこと、そして新たな場での経験を活かしながら、様々な方に信頼してもらえるような作業療法士になりたいと考えております。これからも周りの方々から沢山のことを学び、自身の理想とする作業療法士像に近づけるよう、精進して参ります。

氏 名：山本 夏輝 さん
養成校名：千葉・柏リハビリテーション学院

この度は、奨励賞をいただき誠にありがとうございます。作業療法士として更に勉学に励み、身体・精神領域など様々な場所で経験を積み上げていく所存です。至らぬ所も多々ありますが、温かな目で見守っていただければ幸いです。患者様のご希望に添えるよう尽力して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

氏 名：山口 柚砂 さん
養成校名：学校法人帝京平成大学

作業や日々の会話を通して、「患者様1人1人の望む生活」に目を向けられるような作業療法士になりたいと考えています。その為にもまずは患者様との信頼関係が構築できるよう、勉学での知識・技術の向上また、相手の目を見てコミュニケーションをとるなど当たり前のことが出来るように過ごしていきたいと考えています。

CONGRATULATIONS!

授賞に際して、県士会ニュースへの掲載をご承諾いただいた
受賞者 8 名のコメントをご紹介します。

この度はおめでとうございます！

これから一緒に千葉県の作業療法を盛り上げていきましょう！

氏 名：吉村 美穂 さん
養成校名：国際医療福祉大学

今まで学生として 4 年間、病院実習を通じて臨床現場で多くのことを学んできました。
これからは医療従事者として、病院で患者様の自立支援や生活の質の向上に寄与できるよう、最新の
知識や技術を学び続け、一人ひとりの心身に寄り添ったリハビリテーションを実践していきたいと考
えています。

氏 名：井町 はる那 さん
養成校名：八千代リハビリテーション学院

この 3 年間では、学校での授業や実習を通して作業療法とはなにかを学ぶことが出来ました。
私は作業療法を患者様の生活に再び彩りを与えることと考えています。
私は一人一人の大切な作業を共に患者様とリハビリテーションを行っていける作業療法士になれるよ
う今後も勉学に励み患者様に還元していけるようにしていきたいです。

氏 名：伊藤 奏海 さん
養成校名：植草学園大学

私は周囲の人々をサポートすることに喜びを感じ、普段から困っている方に対して積極的に手を差し
伸べていました。その為、作業療法士として患者様が出来なくて困っている事を「出来る」に変えて
いける知識や技術を身に付けていきたいです。そしていつか患者様に「あなたのおかげ」と言っても
らうことが夢です。

氏 名：永嶋 悠人さん
養成校名：国際医療福祉専門学校

この度は奨励賞を賜り、心より感謝申し上げます。3 年間の学びでは、仲間と切磋琢磨し、国家試験
に挑みました。共に過ごした日々は、生涯忘れることのない大切な宝物です。
今回の受賞を機に、医療人としての自覚を胸に、理想の OT 像を追求し続けます。患者様に寄り添い、
質の高いリハビリを提供できるよう、今後も精進してまいります。

令和 6 年度 一般社団法人千葉県作業療法士会 臨時総会の報告 1

去る3月20日(木)10時より、千葉県立保健医療大学B111教室にて令和6年度臨時総会が開催された。以下のとおり報告する。

1. 議案書の公開と質問の受付：議案書を3月6日までにホームページで公開し、議案に対しての意見や質問を3月11日(火)まで受け付け、特に事前の質問はなかった。
2. 総会当日、代議員35名(議決権行使書含む)が出席し、議長に浦部代議員が選出され、第1号議案 千葉県作業療法士会組織図の変更、第2号議案 令和7年度事業計画及び当初予算計画、第3号議案 役員の選任に関する件について審議され、すべての議案に対し賛成多数で可決承認された。

総会当日の質疑応答

1) 千葉県作業療法士会の組織図の変更について

：質問1：

銀行から口座数が多いと指摘を受けた。今の部局数に抑えてほしい。

：回答1：

予算も含め組織図を考えていきたいと思っている。審議の時間をとらせてしまうかもしれないが検討していく。

：質問2：

学術部身体領域が入っていない。改めて学術部として身体領域の設立を検討しているのか？考えを伺いたい。

：回答2：

身体領域の研修会はブロックで行うということで身体領域が学術部に入っていないが、携わる作業療法士の割合も高い為、今後検討していく。

：質問3：

委員会が多様化している。委員会は増えるが減らない状況。分け方を再考した方がいいのではないか。

：回答3：

組織的に考える部分は沢山ある。組織図だけでなく領域で考える必要もある。理事が精神領域で足りない等もある。バランスよく考える必要がある。理事会で考える事案。役員の中で審議していきたい。部局委員会を統合していくべき等も話では上がっている。

【その他ご意見】

- ・認知症対策委員会は千葉県作業療法士会にとって重要な委員会。
- ・何を基準とするかと考えない限り委員会は減らない。

2) 令和7年度事業計画及び当初予算計画について

各担当理事より説明を行った。

：質問1：

地域共生社会推進委員会について、まめーるの配信は広報活動が主なの動きになっているのではないかと見直しを依頼したい。

：回答1：

まめーるについての利用経緯が運用開始時より変わってきている。広報の内容が増えていることもあるため、広報委員会と連携し理事会で相談していく。

2) 令和 7 年度事業計画及び当初予算計画について

各担当理事より説明を行った。

：質問 2：

学会の開催場所と担当ブロックについて。学会の開催はブロック持ち回りになっており、学会開催年度はブロック独自の企画や研修会の開催が困難になる。ブロックが主導で開催する学会から、学会委員会が主導で開催する方法に変更する事で、ブロックの負担を軽減した方が良いのではないか。ブロック主導で開催する場合、準備のため開催が年度末になり、財務部の負担が大きい。学会委員会主導での開催にすることで通年先回りして動けるようになる利点もある。また学会の運営に関しては学会運営会社を利用することで負担が軽減されるのではないか。さらに学会会場については、経費がかからず多くの会員が参加しやすい県立大学がよいのではないか。

：回答 2：

学会の開催場所は固定という意見と、他の開催場所希望も上がっている。ブロック負担は意見いただいており検討している。学会運営会社は利用すると 200 万円くらいかかる。

【その他の意見】

- ・運営や引き継ぎなど共有する部分にサポートする人がいればなんとかなる。
- ・2 ブロック合同で引き継ぎながら回すとスムーズな運営ができるのではないか。
- ・学会の目的は何か明確にするとよい。(地域に根付くこと、参加しやすい会場など)
- ・予算も考える必要がある。会場費や参加者数を考える必要もある。

：質問 3：

地域連携システム委員会の活動内容を教えてもらいたい。

：回答 3：

活動内容は明確ではない。委員会の在り方は考えていきたい。

：質問 4：

地域連携部のこども連携委員会と学術部の発達障害委員会の違いは？年齢で区切るか制度で区切るか次年度検討してもらいたい。発達障害領域なら 18 歳以上も対象にした研修等が必要ではないか。

：回答 4：

学術部は研修会等の学術活動を目的としているが、地域からの要請に応える活動などが増えてきたためこども連携委員会が設置された。委員の負担もあるため統合の意見もあるが、県士会全体の話になるので、組織図検討の中で考えていきたい。

：質問 5：

託児所について。研修会窓口は福利厚生部であった。託児について復活させてもらいたい。

：回答 5：

以前は福利厚生部で託児をする業者を紹介していた。運用に関しては理事会の方で各部局と調整していき、やりやすい方法を検討したい。

【その他の意見】

- ・福利厚生で託児は必要と思っている。ただお金はとてがかかっている。予算は全体ですり合わせた方がよい。

3) 役員の選任に関する件について

特に質問はなかった。

全ての議案について承認され、11 時 30 分閉会となった。

(東葛南部代議員 田中 望)

Activity Report

#1. 学術部 精神障害委員会

研修会「精神科領域における発達障害の方への作業療法」開催報告

日 時；令和7年2月9日（日） 13時～

講 師：水野健 先生（昭和大学発達障害医療研究所 昭和大学附属烏山病院）

参加者：31名



今年度の学術部 精神障害委員会研修会は、昭和大学附属烏山病院の水野先生をお招きして「精神科領域における発達障害の方への作業療法」について、オンラインでの講義をいただきました。

水野先生の烏山病院デイケアでの実践内容も含め、「大人の発達障害とは何か」、「ASDとADHDの特性と診断」、「発達障害者の評価と治療プログラム」、「発達障害者への生活支援の視点と対応」などの内容で話が進められました。大人の発達障害については、以前に発達障害は子どもに限ると捉えられていたことに区別し、そのように言われるようになったとの説明から、大人になってから発達障害になることはなく、生来的なものであると話がありました。ASDや

ADHDの診断では、DSM-5を基にそれぞれの特性や症状について紹介され、症状がある上で生活に困り事が生じた時点で診断されるとの説明をいただきました。発達障害が見えづらい理由として、本人が社会に対して過剰適応してしまい、社会的カモフラージュを行っている背景があるとの話から、主訴の背景にも生活スキルの課題が潜んでいる場合があることが、大人の発達障害の特徴的な臨床像であるとの話もいただきました。その為、評価については何ができて何ができないのかを一つ一つ丁寧に確認していくことが重要であり、環境への影響や感覚過敏/鈍麻についても、本人と一緒に確認していくことが大切であると伝えていただきました。また、烏山病院で

取り組まれている発達障害専門プログラムをはじめ、障害と本人を切り離して対応するという支援の視点や、説得より本人の納得が大事などといった具体的なアプローチ方法も紹介していただきました。

水野先生の講義の後は、5グループに分かれてグループディスカッションを行いました。ディスカッションの内容は、参加者の方々の日々の取り組みや、発達障害の方への支援における困り事や悩みなどが主でしたが、31名の方に参加いただいたこともあり、グループごとに様々な意見や質問が活発に挙げられていました。グループディスカッションの後は、各グループで話し合われたことを共有し、各グループで挙げた意見に対して、水野先生からフィードバックをい

ただきました。また、参加者からの質問に対しても、水野先生により具体的な関わりやアプローチの仕方などを挙げて答えいただきました。特に印象的であった内容は、ピアの力を活かすという話で、ピアの関わりを通して本人が気づき、自己理解につながるケースも多いということでした。

今回の研修会では様々な内容を通して発達障害の方への作業療法について改めて考える機会を得られました。短い時間ではありますがグループワークの時間も含めて非常に密度の濃い研修会になったと感じています。講師の水野先生並びに参加者の皆さまへ感謝申し上げます。

（学術部 精神障害委員会 宮脇佑太）

Activity Report

#2. 司法作業療法特設委員会

司法作業療法特設委員会主催 研修会報告

日 時；令和 7 年 2 月 28 日 (金) 18:30 ～ 20:00

講 師：棟近 展行 先生（府中刑務所 作業療法士）

参加者：18 名（対面 10 名、オンライン 8 名）



令和 7 年 2 月 28 日 (金) に司法作業療法特設委員会主催の研修会をハイブリッド形式で開催しました。

県内、県外の 18 名（対面 10 名、オンライン 8 名）の OT にご参加いただきました。今回は委員会初めての研修会の開催で、作業療法士で府中刑務所に常勤で勤務されている

棟近展行氏を講師にお招きしました。参加者は、司法領域の OT に興味はあっても経験はない方がほとんどでした。

研修では事例を通して「OT が司法領域で関わる対象者がどのような人か」「その中で OT がどのようなタイミングで介入しどのようなことを行っているか」等を具体的に

にお話ししていただきました。まだ多くはないものの、OT の資格を持ち、保護観察官、社会復帰調整官、刑務官等として活躍されている方がいます。

今は難しいけれどいつかは・・・と興味が高い様子が見受けられました。

今回の研修を通して具体的にイメージができ、司法領域で OT に求められる役割の理解促進や、今後の OT の活躍の可能性への期待が高まったと感じています。

千葉県では刑事施設への OT の介入は令和 5 年度より始まったばかりですが、今後も定期的な研修会を通して研鑽を深め、OT の専門性を提供できるように努めて行きます。

研修会の後は、交流会を開催し大変有意義な時間を過ごすことができました。

ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



第26回千葉県作業療法士学会 福祉機器体験ブース出展報告

『見る・触れる・感じる』—福祉用具の体験を通して広がる臨床の視点



2025年3月9日、千葉県作業療法士学会が千葉県立保健医療大学を会場に開催されました。当日は春の訪れを感じさせる穏やかな陽気に包まれ、多くの来場者で会場は活気にあふれていました。

福祉用具対策委員会では、体験を明日からの臨床の力にしてもらおうと、実際に福祉用具に触れられる体験型ブースを出展しました。今回は、協賛各社のご協力のもと、さまざまな福祉用具を展示。歩行補助具や移乗支援機器、座位保持装置からリハ機器まで、実に多彩な用具が並び、会場を訪れた方々の目を引いていました。

多くの来場者が足を止め、手に取り、使い方を試しては驚きの声をあげる様子が印象的でした。「実際に見てみたいとわからない」「写真で見ると使うのでは全然違う」——そんな声が、体験ブースのあちこちから聞こえてきました。中には「初めて見る道具ばかりで新鮮だった」と話す参加者もあり、臨床での提案や活用の幅を広げるきっかけとなったようです。

私たち作業療法士は、利用者の生活に寄り添うため、福祉用具をどう選び、どう伝えるかが重要です。カタログや講義だけでは得られない“実感”を伴った理解こそが、次の一歩を生み出します。だからこそ、こうした場の意義は非常に大きい

と改めて感じました。

今回の成功は、ひとえにご来場いただいた皆さま、そして快く協賛してくださった企業の方々のおかげです。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

また、福祉用具対策委員会では、参加者の皆さまからの声をもとに、今後の展示内容や活動の充実を図ってまいります。「この用具を見てみたい」「こういう機器に興味がある」といったリクエストがありましたら、ぜひお気軽にお寄せください。皆さまと一緒に、より良い学びの場をつくっていかれたらと思っています。さらに、私たちの活動に興味を持ってくださる方、一緒に委員会を盛り上げてくださる仲間も募集中です。他士会との交流も行っており、視野を広げるチャンスも多くあります。

「見る」だけでなく「触れる」「感じる」ことで、初めてわかることがある——それが私たちの学びの原点であり、実践への道しるべでもあります。これからも、臨床に活かせる体験を共有し続ける場として、活動を深めてまいります。

千葉県作業療法士会 福祉用具対策委員会
浦部智章 (合同会社 artrings)

お詫びとお願い

先日は千葉県作業療法士学会におきまして、当委員会のブースにお越しくださり、誠にありがとうございました。さて、学会当日に当ブースではアンケートを実施させていただきましたが、その中に「8. 福祉用具対策委員会で一緒に千葉県の住環境整備をさらによくしていきませんか？」との設問がありました。数名の方から前向きなご返答をいただきましたが、こちらの不手際により、連絡先をお伺いすることを失念しておりました。申し訳ありません。もし今でも同じようなお気持ちがあれば、恐縮ですが、「sogoreha.kikuchi.ryuichiro@gmail.com」までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

今後とも当委員会へのご支援をお願いいたします。

千葉県作業療法士会 福祉用具対策委員会 委員長 菊池隆一郎

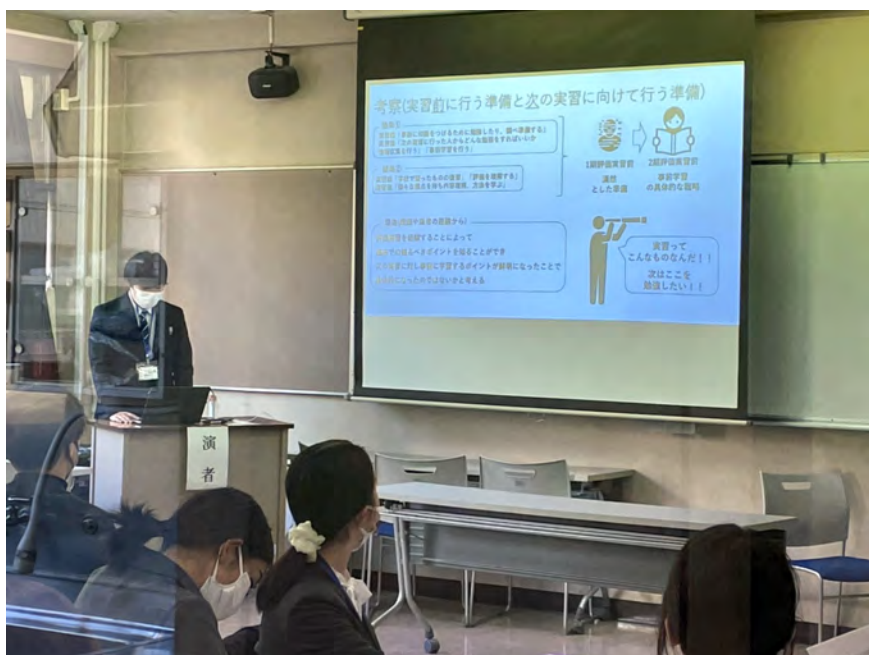
Activity Report

#3. 福祉用具対策委員会

第26回千葉県作業療法士学会 ワークショップ開催報告

OTR と OTS のコラボ企画 学生による発表もあるよ！

～作業療法士についてもっと知ろう～



私たち企画委員会は、学生を対象として OTR や学生同士での繋がりを作ることを目的としたワークショップを行いました。当日は、学生 14 名、OTR16 名と多くの参加者にお越しいただけたことで非常に活気のあるワークショップを執り行うことができました！また、学生による実習に関する研究発表もあり、私たち OTR も学びとして得たものが多かったと感じています。そして何より、皆様が楽しそうに話している姿を見ることができて、私たち委員もとても嬉しい気持ちになりました！

ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございます！！
企画委員会は、今年度も学生を対象とした企画運営を行っていきたくと考えています！学会のみならず他にも機会を設けているので、興味のある方は是非ご参加をお待ちしています！また、企画委員として活動と一緒にいたい方も募集中です！私たちと一緒に委員会活動を通じて学生との交流を楽しみませんか？
ご連絡お待ちしております！！

M@mail (まめーる) 登録のご案内

メール配信サービスである M@mail は災害時の連絡手段、情報収集が主目的ですが、研修会情報や理事会議事要旨など会員の皆様に向けた情報提供も積極的に行っています！！

現在 478 名程の方に登録いただいています。

まだ登録がお済みでない方は、QR または、こちらのアドレスに空メールを送ることで登録できます！ぜひともご登録ください！！

caot_iha0006@mamail.jp



LINE 公式アカウントについて

月 2 回を目安に研修会情報などを配信していきます。

現在 **280** 名の方に登録頂いています。皆様のご登録お待ちしております！！

友達追加の方法

友達の追加→QR コード
→右の QR コードを読み取る



友達の追加→ID 検索から以下の ID を入力

@442xxhdx

研修会情報

詳細については千葉県士会 HP 研修会案内をご確認ください。

東総ブロック主催研修会

「先輩作業療法士の思考に触れて作業療法をもっと好きになろう」

申込期限
6/7迄

Presented by: 千葉県作業療法士会 東総ブロック
先輩作業療法士の
思考に触れて
作業療法を
もっと好きになる

2025.6.15日
13:30～15:30
In 国際医療福祉大学 成田キャンパス

【講師】
東京湾岸リハビリテーション病院
認定作業療法士 坂田 祥子さん

参加費用：千葉県作業療法士会の方(500円)・非会の方(2000円)
他県士会員、他職種の方(1000円)・学生(無料)
→当日現金になります ※生涯教育ポイント付与対象研修会

講座 13:50～ GW 14:20～
作業療法のモチベーションを
高めるための方法を学ぶ グループワークを通して
先輩・後輩OTとの相互交流

お問い合わせ先
東総ブロックOT 緊急連絡先：080-5037-2582
研修会運営委員 E-mail: ot.chiba.toso@gmail.com

ENTRY

〔研修会名〕 先輩作業療法士の思考に触れて作業療法をもっと好きになる

〔開催期間／配信期間〕 令和7年6月15日（日）

〔開催場所〕 国際医療福祉大学 成田キャンパス

〔主催団体名〕 千葉県作業療法士会 東総ブロック

〔掲載文〕

テーマ：先輩作業療法士の思考に触れて作業療法をもっと好きになる

日時：令和7年6月15日 日曜日

内容：仕事のモチベーションやリーズニングなどを学び明日からの臨床に生かして頂ければと思います。講義とグループワークの2部構成で行います。

場所：国際医療福祉大学 成田キャンパス

〔申込み〕 こちらの URL、下記 QR を読み込み、お申込みください。

<https://t.co/DI2UgsUYi2>



千葉県作業療法士会 臨床実習指導者講習会委員会主催 「令和7年度第1回臨床実習指導者講習会」

【研修会名】：臨床実習指導者講習会委員会

【研修期日】（時間含）：2025年8月2日（土）
～8月3日（日）各日とも終日

【場所】ZOOM

【研修会内容】第1回臨床実習指導者講習会

【講師】臨床実習指導者講習会委員

【定員】40名

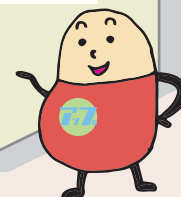
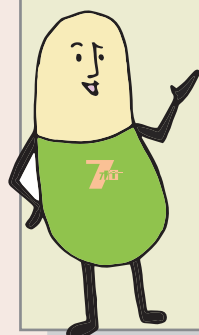
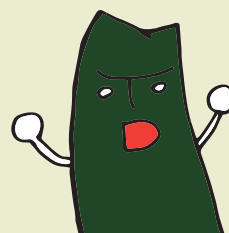
【申し込み方法】

下記 URL、QR を読み取っていただき申込み
フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/FZ9zD4s86TseAjF3A>

【申し込み締め切り】

2025年5月31日（土）～2025年6月14日
（土）17:00





理事会報告

2024 年度 第 10 回 理事会

2025 年 1 月 15 日（水） 19:00 ～ 千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにてハイブリッド会議

松尾、兼子、今野、五味、有川、金平、小池、佐々木海、佐々木啓、須藤、関、露崎、野口、袴田、坂田、土居 計 16 名

【検討事項】

1. 来年度事業計画案について
⇒各部局の入力を踏まえ、財務部と調整を進めていく。
2. 非会員の研修参加費について
⇒他県士会、会員の納得感、啓発目的など様々な観点からの検討が必要であろう。
基本的な考え方として「非会員の参加費＝研修会参加費＋8,000 円（年会費相当額）」で
どうか。継続審議。
3. 理事・役員補充について
⇒理事 20 名定員だが、18 名で運営している。掛け持ちが多く、理事の負担が大きい。
定款に従って代議員から 2 名の補欠選挙。承認（公示 1 月 19 日、3 名以上の立候補で
選挙実施）。
4. 福利厚生部のイベントについて
・学会後の懇親会⇒会員向け※学生との交流は日中の企画委員会のイベント等で行う。
・新人歓迎会の開催時期⇒勤務調整等から 6 月頃で良いのでは。引き続き検討。

【報告事項】

1. 県士会と協会の意見交換会について
⇒県士会 12 名、協会 4 名参加有益な意見交換ができた。
2. リハビリテーションを考える議員連盟総会への出席について
⇒12 月 12 日開催賃上げの実現、地域包括支援センターへの配置等に関する要望書を
3 協会から提出。
3. 理事会内での情報共有のツールについて
⇒来年度からスタートを目指す。継続審議。
4. 各部局委員会の報告
・企画委員会⇒11 月 30 日学生向けイベント開催 13 名参加養成校教員が委員として参画
すると良いか。
・司法作業療法特設委員会⇒11 月 30 日～12 月 1 日開催の司法作業療法学会（仙台）に
委員 5 名が個人参加。
・福利厚生部⇒11 月 17 日ゴルフ交流会開催 6 名参加満足度は高かった。

- ・東葛南部ブロック⇒1 月 25 日対面交流会開催予定他職種、一般の方の参加歓迎情報周知。
 - ・災害対策委員会⇒9 月～11 月防災訓練や研修の講師等に参加。
 - 千葉 JRAT を通じての依頼増加、可能な限り委員を派遣 1 月に対面の研修開催予定。
 - ・学会委員会⇒内容の濃い充実した内容のプログラム抄録は年内に発送予定申し込みは
Peatix にて予約開始予定。
 - ・地域共生社会推進委員会⇒第 2 回地域事業支援会議（10 月 5 日・6 日）参加。
 - ・MTDLP 委員会⇒11 月 3 日事例検討会開催予定。
5. その他
・来年度の各部局委員会の活動と予算の検討⇒議案書作成、各担当理事チェック。
・通帳名義変更の件⇒通帳 12 月 23 日事務局必着。
・事務局員 1 名募集（9:30～13:30 週 2 日程度 1 年程度の勤務も可）。
・千葉市健康づくり大会参加報告。
・千葉 POS 生活期リハ実務者研修会 2 月 9 日「求められる訪問リハの専門性と可能性、
小児から高齢者まで」。
・船橋ひまわりネットワーク役員会 9 月 25 日開催 27 団体が参加し、今年度の活動計
画を共有。

2024 年度 第 11 回 理事会

2025 年 2 月 12 日（水） 19:00 ～ 21:17 千葉県立保健医療大学幕張キャンパスにてハイブリッド会議

松尾、兼子、今野、五味、有川、勝俣、金平、小池、古城、佐々木海、佐々木啓、須藤、関、多田、露崎、野口、袴田、
横山、坂田、土居 計 20 名

【検討事項】

1. 来年度事業計画案（臨時総会）について
⇒完成した議案書はホームページに掲載し、質問を受け付けて対応する。
2. 千葉県作業療法士連盟との連携について
⇒千葉県作業療法士連盟からの依頼には、協力の方法をその都度検討する。
政策協定は審議を継続。
3. 理事役員の補充について
⇒補欠選挙で 1 名が理事に立候補。承認。
4. 養成校の卒業式・入学式の出席者調整について
⇒出席可能者を確認し、個別に調整する。
5. 「倫理問題担当窓口」の見直しに関する意見交換会（3 月 1 日開催予定）に
ついて
⇒有川事務局長、五味副会長が出席予定。
6. 会員休会について
⇒6 名の会員から休会届の提出（理由：出産・育児）。承認。
7. 千葉中央ブロックの補正予算について
⇒学会の準備資金として（パネル、案内板など）130,555 円。学会委員会
から再申請とする。承認。
8. 県士会奨励賞の受賞者案について
⇒県内養成校から推薦者が 8 名。承認。
9. よんばち会議の出席について
⇒3 月 2 日オンライン開催予定。松尾会長と今野副会長が出席予定。
10. その他
⇒企画委員会：卒業生向け説明会を対面で開催予定。

【報告事項】

1. 令和 6 年度 第 1 回千葉県医療推進協議会について
⇒1 月末開催。熊谷県知事、18 団体の代表者が参加し、今後の千葉県内の
医療福祉について話し合った。
2. 第 12 回千葉県脳損傷者運転支援連携会議について
⇒2 月 7 日開催。県内の運転支援に関わる医療機関が参加して意見交換を
行った。3 月 3 日に JAF 千葉に挨拶予定。
3. 各部局委員会の活動報告
発達障害委員会：1 月 26 日に研修会を対面・オンデマンド配信で行った。29
名が参加。
子供連携委員会：2 月 1 日に研修会を対面・オンラインで開催。対面参加
29 名、オンライン参加 5 名。
調査部：2 月にアンケート調査を行う予定で発送準備をしている。
選挙管理委員会：役員補欠選挙で 1 名立候補あり。承認。
東葛南部ブロック：1 月 25 日に作業療法フェスティバルを行い、一般の方
も含めて約 30 名が参加。OT を知ってもらうための企画を実施した。
4. その他
・令和 6 年度千葉県介護予防市町村支援検討会議について
⇒今野理事が参加予定だが、場合によっては代理を依頼する可能性あり。